



⑥ 銀座駅のデザインをお客様から広く公募します！

銀座線すべての駅を5つのエリアコンセプトに沿ってリニューアルします。

東京メトロ(本社:東京都台東区 社長:奥 義光)では、東京メトロ銀座線開業 90 年(2017 年)そして 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、銀座線全駅のリニューアルを進めるため、平成 24 年 12 月から、銀座線の魅力向上に寄与する様々なアイデアを公募するデザインコンペを実施しています。

このたび、前回の商業エリアのコンペに引き続き、**第3弾として、銀座線の中核である銀座駅を対象にお客様から広く駅デザインを公募する「東京メトロ銀座駅デザインコンペ」を開催します。**

今回の銀座駅のコンペについては、**地域との連携を重視し地下にいながら地上を感じることができる「銀座のまちの地下 1 階」としての空間のあり方を問うコンペ**と位置づけ、審査委員には、新たに銀座通連合会理事長などをお招きします。駅デザイン、望ましいユーザー経験に加え、駅機能も合わせて、地上・地下が一体となった新しい銀座駅について沿線にお住まいのお客様をはじめ皆様から多様なアイデアを広く募集します。

銀座駅は、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックまでにバリアフリー化等を含め駅のリニューアルを完了し、世界から銀座に訪れるお客様が心躍るような駅にしていまいます。今後、**開業 90 年となる 2017 年度までに浅草～京橋間(日本橋を除く)、東京オリンピック・パラリンピックまでに新橋・虎ノ門・渋谷を除く全駅のリニューアルを完成させる予定です。**

駅デザインコンペの詳細は、別紙のとおりです。皆様のご応募をお待ちしております。



商業エリア(第2弾)最優秀案



下町エリア(第1弾)最優秀案

「東京メトロ銀座駅デザインコンペ」概要

【提案対象駅】

東京メトロ 銀座駅

【提案課題】

- 1) 銀座駅における望ましい経験・駅のあり方
- 2) 駅の個性とともに、機能性を備えたプラットホームのデザイン提案
- 3) 駅の顔である改札口周りのデザイン提案
- 4) 待ち合わせなどの場所となるコンコースのデザイン提案
- 5) 地上と地下をつなぐ上屋のデザイン提案
- 6) 駅機能（人・空間・情報（広告含む））のアイデアの提案

【重視すべき視点】

- ・銀座らしいユーザー像の具体化と望ましい経験の提案
- ・望ましい経験を実現する駅デザインの提案
- ・銀座駅のゾーニングの考え方を考慮した提案
- ・銀座線に関するコンセプトのデザインへの反映
- ・周辺地域の歴史、地域性との調和を考慮したデザイン
- ・銀座線ラインカラー（参考：DIC カラーガイド 163 番）のデザインへの反映
- ・効果的な照明デザイン
- ・デザイン提案（意匠、材料等）の具体性
- ・銀座の街との相乗効果や連携

【応募資格】

東京地下鉄株式会社の要望に応じて、速やかに当社や東京都心部に来ることができ、かつ日本語で対応できる態勢を整えている者

※ 複数名（個人または法人等）によるグループとして応募することも可能です。その場合は、代表者を1名定め、その他を共同制作者として下さい。

※ 年齢、国籍、資格、経験等は問いません。

※ 審査委員、審査委員が主宰または役員・顧問として関係する団体等に所属する者及び東京地下鉄株式会社（グループ会社を含む）に勤務する者は応募できません。

※ 応募は一人（一グループ）につき一作品とし、複数の作品を応募することはできません。

【申込・提出方法】

下記お問い合わせ先に記載されているコンペ公式ホームページ上にて必ず事前登録してください。また、作品の提出方法等についてもコンペ公式ホームページ上の募集要項をご確認ください。

【申込開始時期】

平成 27 年 1 月 21 日（水）

【賞金】

- ・最優秀賞（1点）：50万円
- ・優秀賞（2～3点）：30万円
- ・入選（数点）：10万円
- ・奨励賞（数点）：10万円
- ・特別賞（数点）：10万円

※ 評価においては、学生・一般等による区分はいたしません。

※ 最優秀賞及び優秀賞は副賞として上記賞金に加えて賞品をさし上げます。

※ 奨励賞及び特別賞は、最優秀賞・優秀賞・入選を受賞された応募者を除き選定します。

※ 奨励賞は、若手（作品提出日において25歳以下）の応募者を対象とします。

※ 特別賞は、「望ましい経験」や「ユーザー像の設定」は秀逸であるが、駅デザインに十分に展開出来ていない作品や、照明デザイン、グラフィックデザインなど一部のデザインが秀逸である作品を対象とします。

※ 賞金にかかる税金は入賞者に負担していただくこととします。

【審査委員会】

- ・委員長 入江 健二（東京地下鉄株式会社 常務取締役）
- ・委員 紺野 登（多摩大学大学院教授 兼 知識イノベーション研究所 代表）
- ・委員 松下 美紀（松下美紀照明設計事務所 代表）
- ・委員 内田 繁（株式会社内田デザイン研究所 代表）
- ・委員 谷澤 信一（全銀座会代表幹事 兼 一般社団法人 銀座通連合会 理事長）
- ・委員 他15名（東京地下鉄株式会社）

【コンペスケジュール】

登録受付期間：平成27年1月21日（水）～平成27年3月6日（金）17時まで

提出期限：平成27年3月17日（火）12時まで（必着）

審査結果発表：一次審査 平成27年4月中旬（コンペ公式ホームページ上で発表）

二次審査 平成27年6月下旬（コンペ公式ホームページ等で発表）

【お問い合わせ先】

東京メトロ銀座駅デザインコンペ事務局（受付時間：平日9時～17時）

〒110-0005 東京都台東区上野5-3-4 4F

metro2015@japandesign.ne.jp

本コンペ公式ホームページ：<http://compe.japandesign.ne.jp/metro2015/>

（コンペ公式ホームページは東京メトロの公式ホームページ：<http://www.tokyometro.jp/index.html> からでもアクセスが可能です。）

(参考) 銀座駅の歴史

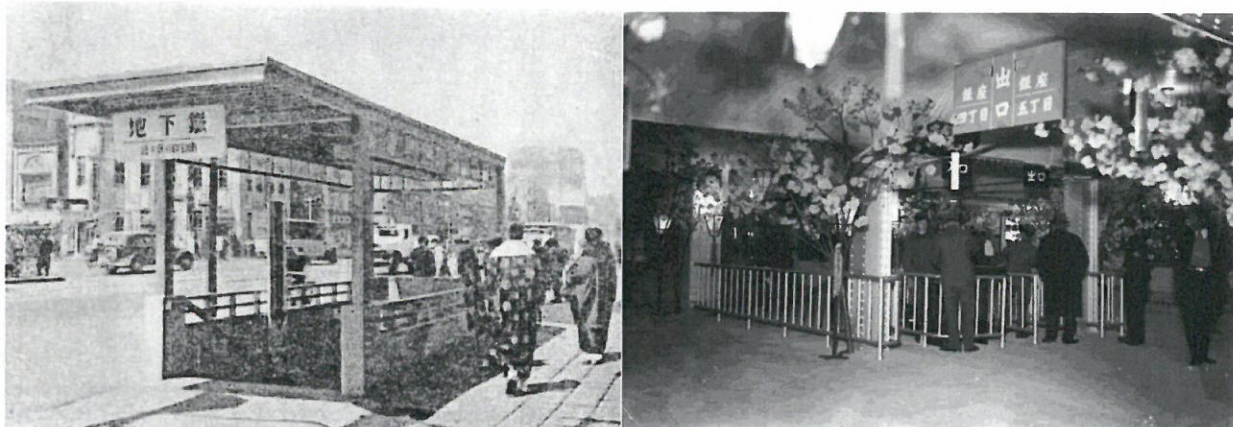
最古の銀座駅(銀座線)は、1934年3月に開業しました。

駅出入口は、都市の美観や周辺店舗の見通しへの配慮、雨季のある気候、そして日本人の服装を考慮した結果、写真(1930年代左写真)にあるような出入口が考案され採用されました。当時から銀座4丁目の交差点には8方向もの出入口が設置されており、これほど多数の出入口は他の地下鉄駅にはありませんでした。また、お客様が雨に濡れずかつ広い道路を横断せずに、地下鉄から直接デパートに出入りできるよう連絡口も設置しました。

当時から「銀座のまちの地下1階」としての機能が銀座駅にはあったのです。

その後、1964年10月に開催された東京オリンピックに向けて、急ピッチにて建設がすすめられた日比谷線の銀座駅開業(1964年8月29日)をもって、戦後建設された丸ノ内線西銀座駅を含む3駅が地下でつながり、一大ターミナルとしての銀座駅が誕生しました。

1930年代の銀座駅



1960年代の銀座駅

